

## 第4回『適応自治体フォーラム』開催のお知らせ(第一報)

拝啓 新緑の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

2018年12月には「気候変動適応法」が施行され、地方自治体の気候変動適応計画策定の努力義務が明記されるなど、地域における適応の取り組みの重要性がこれまで以上に高まっているところです。

2015年度より5か年の予定で実施している文部科学省の「気候変動適応技術社会実装プログラム(SI-CAT)」は、今年度が最終年度となります。本プログラムは、地方自治体が主体的に気候変動適応策を検討する際に必要な科学的知見が得られるよう地域の将来の環境を予測する基盤的技術を整備するとともに、地域特有の気候変動の影響を考慮した適応策の立案に資するアプリケーションや策定手法に関して導入支援を行うことを目的としています。

法政大学においては、研究プログラムの一員として、地方自治体の適応策の取り組み状況の分析、気候変動予測や影響評価に係わる技術への自治体ニーズの抽出、住民参加型の適応立案手法と地域社会の適応シナリオの開発などを実施しており、一定の成果を上げてきました。また、地方自治体の取り組み支援の一環として、これまでに3回にわたり「適応自治体フォーラム」を開催させていただき、SI-CATの気候モデル・影響評価の専門家や、全国の自治体担当者を中心に、各回とも100～150名の参加者を得て、大変活発な情報共有と意見交換の場となりました。

今年度も、第4回適応自治体フォーラムとして、以下の要領で開催させていただきます。ご多忙のところを誠に恐縮ではございますが、ぜひ多くの皆様にご参加いただけますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

日時：2019年8月28日（水）10時～17時15分

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス 外濠校舎 2-3階

概要：

- SI-CAT 技術開発機関・モデル自治体・社会実装機関からの話題提供(午前)
- 適応計画全般、農業、防災、暑熱などの分科会に分かれてワークショップ形式による意見交換(午後)



※本フォーラムは文部科学省『気候変動適応技術社会実装プログラム』の支援を受けて実施されます。

内容の詳細や参加登録の開始など最新情報のお知らせをご希望の場合、メールアドレスをお知らせください。

お問い合わせ：法政大学 地域研究センター

(電子メール) [umineko3.hosei@gmail.com](mailto:umineko3.hosei@gmail.com)